

精華町立 精華南中学校



所在地 京都府相楽郡精華町桜が丘二丁目3番地1
電話 0774-72-5222 郵便番号 619-0232
FAX 0774-72-5366
<http://www.kyoto-be.ne.jp/seikaminami-jhs/>

精華南中学校 校歌

作詞 永谷 鞆庸

作曲 荒堀 和子

さくらが おかに そびえたつ
わがまなびやは せいなんの
せんこのれきし ふまえつつ すすむせいき そうぞうの
いーきと どりよくの ひとつど う
は え あ る せ い か み な み ち ゅ う が く

精華南中学校校歌

作詞 永谷 鞆庸
作曲 荒堀 和子

一 桜が丘にそびえ立つ
我が学び舎は精南の
千古の歴史ふまえつつ
進む世紀創造の
意気と努力の人集う
栄えある精華南中学校

二 平城京の青垣に
育つ大地を基として
躍び立つ力担いつつ
世界の文化発展の
生気と創志の人集う
輝く精華南中学校

三 相楽山の頂きに
希望を胸に研きあい
未来に夢を抱きつつ
つくる関西・学研の
勇気と責務の人集う
伸びゆく精華南中学校

1. 学校の沿革

- 昭 63. 4. 1 精華町立精華南中学校が山田荘小学校で発足
 4. 6 精華町立精華南中学校開校式（山田荘小学校体育館）
 5. 21 精華町立精華南中学校育友会設立
 9. 1 新校舎竣工に伴う開校式及び町開き、創立記念日とする。
 10. 16 京都国体開始式に合唱隊として全校参加
 3. 10 精華南中学校校歌発表会
 3. 24 学校菜園創設
- 平 元. 4. 1 文部省・精華町より、道徳教育推進校に指定される。
 4. 6 新しい制服（男女ともブレザー）を制定する。
 3. 10 育友会総会で桜が丘地域が新しく加入される。
 3. 24 平成2・3年度道徳教育推進校中間報告
 2. 10. 25 文化クラブ発足（ブラスバンド部・クラフト部・文芸部）
 2. 5 文部省・精華町教育委員会指定道徳教育推進中心発表会開催
 4. 8. 30 「コンピュータ室」完成（42台設置）
 6. 4. 1 京都府教育委員会・精華町教育委員会指定「国際理解教育推進事業モデル校」として指定をうける。（平成6・7・8年度）
 9. 10. 25 創立10周年記念行事を開催
 記念式典・記念演奏会・記念植樹「三春の滝桜」・記念誌発行
 10. 11. 30 相楽郡中学校教育研究会指定研究発表（平成9・10年度）
 12. 2. 20 アフリカ英語圏諸国の女性教員来校（18カ国24名）
 10. 29 平成12年度京都留学生交流モデル地域推進事業の指定を受け、留学生との交流会を実施
13. 8. 25 吹奏楽部 関西吹奏楽コンクール出場
 14. 8. 26 吹奏楽部 2年連続関西吹奏楽コンクール出場
 15. 4. 1 特別支援学級「レインボー学級」開設
 8. 25 吹奏楽部 3年連続関西吹奏楽コンクール出場
 16. 4. 1 文部科学省「平成16年度全国的かつ総合的な学力調査の実施に係る教育課程研究指定校」に指定される。
 8. 23 吹奏楽部 4年連続関西吹奏楽コンクール出場
 17. 4. 1 「開かれた学校づくり」推進
 8. 22 吹奏楽部 5年連続関西吹奏楽コンクール出場
 2. 24 全国教育美術展 学校賞受賞
 18. 8. 21 吹奏楽部 6年連続関西吹奏楽コンクール出場
 19. 4. 1 「京の子ども、夢、未来校、ジョイントアップ研究開発校として府より指定を受ける」
 11. 3 創立20周年記念行事を開催
 20. 11. 19 京都府中学校教育研究会情報教育研究大会
 2. 3 京の子ども、夢、未来校、ジョイントアップ研究発表会
 21. 4. 1 平成21年度特別支援教育充実事業に係る研究実践校（「やましろ未来っ子」研究推進校）に指定される。
 4. 1 国立教育政策研究所教育課程研究センター関係指定事業「小・中連携教育実践研究事業（平成20・21年度）」
 23. 4. 1 学力の3要素（習得・活用・意欲）について研究
 25. 4～29. 3 ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくりについて研究
 27. 2. 屋内運動場太陽光発電設備設置
 29. 4. 1 相楽地方中学校教育研究会指定研究（平成29・30年度）
 10. 27 創立30周年記念行事を開催
 30. 11. 28 相楽地方中学校教育研究会指定研究発表会
- 令 元. 8. 20 吹奏楽部 関西吹奏楽コンクール出場
 2. 4. 1 山田荘小学校・精華南中学校学校運営協議会設立
 4. 8. 20 吹奏楽部 関西吹奏楽コンクール出場
 5. 9. 1 給食開始
 5. 12. 6 南校舎便所改修工事

2. 学校教育方針

1. 経営方針

確かな学力、豊かな人間性、健康や体力などの「生きる力」をそなえた生徒の育成

2. 教育目標

(1) <中期経営目標>

『質の高い教育を追求するとともに、地域から信頼される学校づくり』

～学校文化を創造する～

- ① 習得・探求、共に生きる喜び、共感・感動の喜びなど生きる喜びを実現する取組を通して、「生きる力」を育てる。
- ② ユニバーサルデザインの視点を基盤とし、あらゆる教育活動を通して「伝え合う力」の育成を図り、更なる学校文化を構築する。
- ③ 学習指導要領の趣旨に基づき、確かな学力と豊かな人間関係を育成する特色ある教育課程の編成・実施とその評価・改善を図る。
- ④ コミュニティスクールの取組を進め、地域の力を学校教育に取り入れるシステムを構築する。
- ⑤ あらゆる教育活動においてチーム学校として組織的な取組を進める。

(2) <学校経営の重点（短期経営目標）>

- ① 習得・探求、共に生きる喜び、共感・感動の喜びなど生きる喜びを実感させる取組を具現化する。
- ② 学習指導要領の趣旨に基づき、確かな学力と豊かな人間性を育成する特色ある教育課程の編成・実施を行うとともに基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、未知の状況への対応に必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育み、自ら学習を調整しながら粘り強く学習に取り組む態度を育成する教育活動を進める。
- ③ 学校が更に信頼され、生徒にとって自信と誇りが持てる学校づくりを推進するため、生徒会活動やボランティア活動などを充実させるとともにコミュニティスクールの取組を通して生きた地域人材の活用や情報の積極的な発信を行う。

3. めざす学校像、生徒像、教師像

(1) めざす学校像

- ① 生徒とのふれあいを大切にし、生徒・保護者・地域の信頼に応える教師
- ② 質の高い教育を提供し、信頼される学校
- ③ 生徒や地域の特性を生かし、生徒の夢を具現化する学校

(2) めざす生徒像

- ① 意欲をもって学び、根気よく努力をする生徒
- ② 自信と誇り、思いやりを忘れず行動する生徒
- ③ 創造性豊かで、感謝と感動を行動で表す生徒

(3) めざす教師像

- ① 生徒とのふれあいを大切にし、生徒・保護者・地域の信頼に応える教師
- ② 学ぶ喜びを実感できる授業を創造し、絶えず研鑽に励む教師
- ③ 組織として、子どもを教育する教師

4. 指導の重点

(1) 学校がさらに信頼され、生徒にとって自信と誇りが持てる学校づくりを進める。

① 組織運営・校務分掌

ア 教職員が常に組織の一員であることを自覚し、機能させることによりチーム学校としての学校力を高める。

イ 委員会、部会の実効性を高める。

② 情報・文書管理

ア 精華町文書管理規程により、管理を徹底する。

イ 文書の保管については、特に個人情報保護の観点に留意する。

③ 施設・設備管理・安全管理

ア 校舎内外の施設、整備の点検を定期的に行う。

イ 安全指導、安全管理の徹底を図る。

ウ 防災訓練を兼ね、年3回程度避難訓練を実施する。

④ 保健・衛生

- 健康な体と学習環境を整えるために、感染予防対策などの取組を充実させるとともに定期的な検診と衛生管理に努める。
- ⑤ 家庭・地域との連携

地域の自然や文化・人材の積極的活用、学校評価等や情報の積極的な提供、保護者・地域の人々の学校運営への参加促進など地域の力を活用する。
 - ⑥ 学校評価・教職員評価

ア 自己評価の結果について検証を行うため、学校関係者評価を導入する。
イ 人材育成の観点から、教職員評価を充実させる。
- (2) 学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善により、質の高い学力を育成する。
- ① 研究・研修

質の高い学力を育成するために、研修を計画的に実施し、教職員の資質向上を図るとともに、若手教員の育成に努める。これまでの成果と課題を整理し、研究推進委員会を中心に授業改善を行い、工夫改善を図る。
 - ② 教育課程の編成と実施

学習指導要領の趣旨に基づき、確かな学力と豊かな人間性を育成する特色ある教育課程の編成・実施とその評価・改善を図る。
 - ③ 各教科

ア 研究主題に基づいた研究を進めるとともに、「伝え合う力」の育成を目指した授業改善に努める。
イ 基礎・基本の徹底による学力向上・充実を図るとともに、全ての教科で活用の力を育成する。
ウ <育むべき資質・能力>
実際の社会や生活で生きて働く、知識及び技能、未知の状況にも対応できる、思考力・判断力・表現力。学んだことを人生や社会に生かそうとする、学びに向かう力。
 - ④ 道徳教育

道徳的価値の内面的な自覚を促す道徳の授業方法について研修を深める。
 - ⑤ 小中連携

小中学校の特質を踏まえながら、一小一中という利点を生かした連携の充実を図る。
- (3) 習得・探求の喜び、共に生きる喜び、共感・感動の喜びなど「生きる喜び」を実感させる取組を具体化する。
- ① 生徒指導

基本的な生活習慣を体得させるとともに、自主的活動の充実に努め、問題行動の未然防止を図る。
 - ② 特別活動

望ましい集団活動を通して、集団や社会の一員としてより良い生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。
 - ③ 教育相談

共感的理解等により人格の形成・成長を支援する。
 - ④ 特別支援教育

ア 指導計画の作成と個々の生徒への働きかけを計画的に行う。
イ 特別な支援を必要とする生徒に対して必要な手立てを講じる。
 - ⑤ 健康教育

心身の発達と健康な生活についての意識を高め、健康や安全に対する自己管理能力を育てる。
 - ⑥ 総合的な学習の時間

「生きる力」をはぐくむという目標の具現化のため、学校全体の計画を再構築し、多様な人とのつながる力の育成を図る。「生き方」探究学習として位置づけ、実践する。
 - ⑦ キャリア教育

「生き方」探究学習を通して、自らの進路を主体的に切り拓く能力や態度を育成する。
 - ⑧ 人権教育

様々な人権問題の正しい理解と問題解決のために行動できる態度や実践力を培い、「共に生きる」実践をさせる。

⑨ 図書館教育

生徒の豊かな感性と生涯にわたって読書を愛好する態度を育む。

⑩ コミュニティ・スクール

山田荘小・精華南中学校運営協議会を核に地域と協働することにより、地域を愛し、地域に貢献できる生徒の育成を目指す。

5. 研究主題

「伝え合う力の育成」

3. 生徒数（5月1日現在）

(1) 学年別・学級別生徒数

学 年 組	特別支援学級 レインボー		1 年	2 年		3 年		合計
	1	2		1	2	1	2	
男 子	1	1	19	11	12	12	13	68
女 子	1	0	20	12	11	13	14	69
小 計	2	1	39	23	23	25	27	140
合計	3		39	46		52		140
家 庭 数	3		37	46		51		137

(2) 地域別生徒数

地 域	1 年	2 年	3 年	合 計
山 田	2	2	2	6
乾 谷	0	0	0	0
柘 榴	2	2	1	5
桜が丘一丁目	8	11	13	32
桜が丘二丁目	8	10	11	29
桜が丘三丁目	9	10	11	30
桜が丘四丁目	7	11	13	31
エスペローマ	4	1	2	7
そ の 他	0	0	0	0
合 計	40	47	53	140

4. 教職員一覧表（5月1日現在）

職名	氏名	担任	教科	校務分掌	部活顧問
校長	林田 芳美				
教頭	藤 秀成				
教諭	脇本 亜矢	教務	保体	教務主任・研究主任	陸上競技
教諭	乾 佐知子	レインボ-1組	音楽	特別支援教育	吹奏楽
講師	野宮 隆寛	レインボ-2組	社会	特別支援教育	サッカー
教諭	大谷 弘和	1年主任	社会	人権教育主任	サッカー
教諭	小池 啓介	1年1組	数学	生徒指導主任	野球
教諭	竹田 舞	1年付	理科	特別活動主任	吹奏楽
教諭	小野 昌	2年主任	数学	進路指導主事	美術
教諭	服部 良輔	2年1組	英語	情報教育	陸上競技
教諭	片山 千鶴	2年2組	社会	図書館教育	バスケットボール
教諭	黒岡 梨恵	2年付	美術		美術
教諭	板垣 崇子	3年主任	英語	特別支援コーディネーター	バスケットボール
教諭	田口 琴美	3年1組	国語	道徳教育	陸上競技
教諭	小林 政喜	3年2組	保体	進学主任	野球
講師	布川 宏	3年付	国語	人権教育主任	野球
非常勤講師	曾東 ますみ		家庭		
非常勤講師	森下 綾		理科		
まなび・生活アドバイザー	森本 洋介				
養護教諭	森本 信子			教育相談	
事務職員	茅野 理恵			学校事務	
特別支援教育指導員	嶋田 真理子				
教員業務支援員	西川 晶子				
町指導員	青山 美香子			別室対応指導	
町介助員	吉村 映子			心の居場所サポーター	
学校図書館司書	赤松 智子			学校図書館運営	
スクールカウンセラー	岩井 秀世				
学校医	下里 豪俊				
学校歯科医	住岡 和一				
学校薬剤師	中村 政美				

5. 学校行事計画

	1 学 期	2 学 期	3 学 期
儀 式	始業式 入学式 終業式	始業式 終業式	始業式 卒業証書授与式 修了式
文 化	新入生歓迎会	文化学習発表会 人権学習発表会	3年生を送る会
健康安全 体 育	身体測定 視力検査 専門医検診（内科・歯科・ 眼科・耳鼻科） 心臓検診 スポーツテスト 避難訓練 交通安全教室 防犯教室 薬物乱用防止教室 熱中症予防学習	身体測定 視力検査 体育大会 避難訓練	身体測定 視力検査
旅 行 集 団 宿 泊	校外学習（2年） 修学旅行（3年）		
勤 労 生 産 奉 仕	学校菜園作業	しごと講話	学研都市企業訪問（1年） 奉仕作業（3年）

6. P T A

(1) 活動目標

「地域ぐるみ、学校ぐるみで子どもを守り育てるために、先生方と保護者と子どものふれあいを深める」

(2) 活動方針

- ① 保護者と教職員が共通の認識を持ち、相互に理解を深められるようにP T A活動を推進する。
- ② 各種行事の参加を通じて会員相互の親睦と理解を深め、円滑なP T A活動を推進する。
- ③ 関係団体の研修に積極的に参加する。

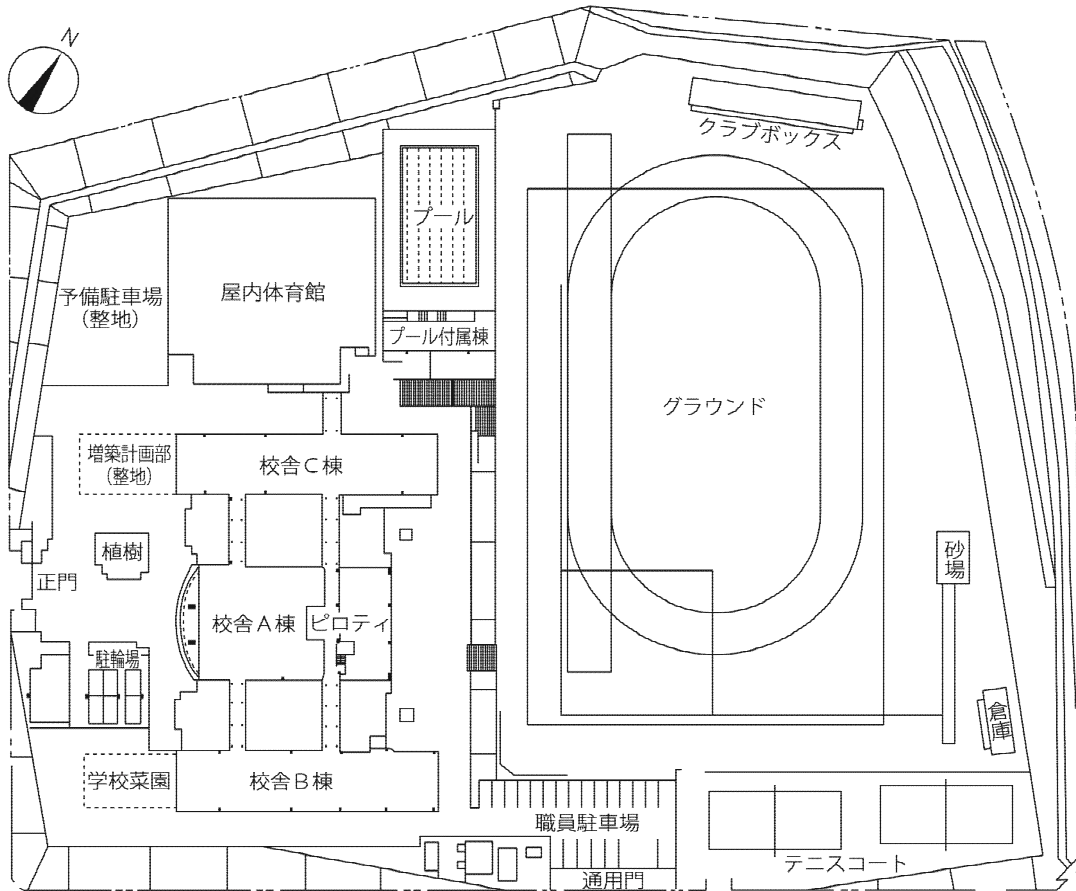
(3) スローガン

繋がり ～ ほっこりみんなのコミュニティ ～

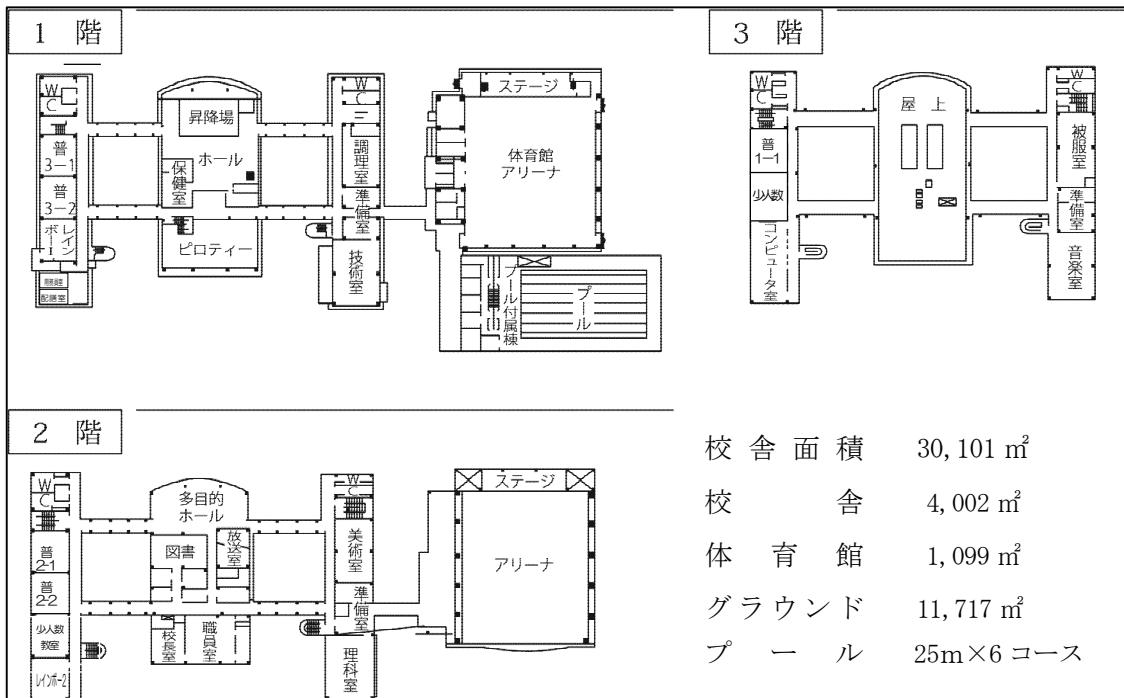
7. 学校運営協議会委員

氏 名	
田 中 智 美	重 村 直 志
渋谷 富美子	岡 田 清 恵
杉 原 孝 司	林 田 芳 美
飯 田 智香子	藤 秀 成
山 本 正 來	
野 崎 奈緒美	
高 鍋 房 美	
上 村 晴 彦	

8. 学校施設



各階平面図



校舎面積	30,101 m ²
校舎	4,002 m ²
体育館	1,099 m ²
グラウンド	11,717 m ²
プール	25m×6コース